

## 平成期の天皇夫妻の短歌一覧

### (平和祈念・慰霊の短歌)

- ⑮ 波立たぬ世を願ひつつ新しき年の始めを迎へ祝はむ  
(天皇) (1994年 歌会始 「波」)
- ⑯ 国のため尽くさむとして戦ひに傷つきし人のうへを忘れず  
(天皇) (1998年 日本傷痍軍人会創立四十五周年にあたり)
- ⑰ 精根を込め戦ひし人未だ地下に眠りて島は悲しき  
(天皇) (1994 硫黄島) (終戦 50年)
- ⑱ 慰霊地は今安らかに水をたたふ如何ばかり君ら水を欲りけむ  
(皇后) (1994 硫黄島)
- ⑲ 原爆のまがを患ふ人々の五十年の日々いかにありけむ  
(天皇) (1995年 原子爆弾投下されてより五十年経ちて)
- ⑳ 被爆五十年広島に静かにも雨降り注ぐ雨の香のして  
(皇后) (1995年 広島)
- ㉑ サイパンに戦ひし人その様を浜辺に伏して我らに語りき  
(天皇) (2005年 サイパン島訪問)
- ㉒ いまはとて島果ての崖踏みけりしをみな足裏思へばかなし  
(皇后) (2005年 サイパン島)
- ㉓ 慰霊碑は白夜に立てり君が花抗議者の花ともに置かれて  
(皇后) (2000年 オランダ訪問の折りに)
- ㉔ 知らずしてわれも撃ちしや春闌くるバーミアンの野にみ仏在 (ま) さず  
(皇后) (2001年 野)

### (沖縄を詠んだ短歌)

- ㉕ いつの日か訪ひませといふ島の子ら文はニライの海を越え来し  
(美智子皇太子妃) (1971年 島)
- ㉖ 黒潮の低きとよみに新世の島なりと告ぐ霧笛鳴りしと  
(皇太子妃) (1972年 五月十五日沖縄復帰す)
- ㉗ 雨激しくそそぐ摩文仁の岡の辺に傷つきしものあまりに多く  
(皇太子妃) (1972年 五月十五日沖縄復帰す)
- ㉘ この夜半を子らの眠りも運びつつデイゴ咲きつぐ島還り来ぬ  
(皇太子妃) (1972年 五月十五日沖縄復帰す)
- ㉙ 戦ひに幾多の命を奪ひたる井戸への道に木木生ひ茂る  
(明仁皇太子) (1975年 沖縄県摩文仁)
- ㉚ ふさかいゆる木草めぐる戦跡くり返し返し思ひかけて \*
- (フサケユルキクサ ミグルイクサアト クリカイシガイシ ウムイカキテイ)  
(皇太子) (1975年 沖縄県摩文仁)
- ㉛ 今帰仁の城門の内入れば咲きやる桜花紅に染めて \*
- (ナキジンヌグスイ ジョオヌウチイレバ サチャルサクラバナ ビンニスミテイ)  
(皇太子) (1975年 今帰仁城跡)
- ㉜ みそとせの歴史流れたり摩文仁 (まぶに) の坂平らけき世に思ふ命たふとし

- (皇太子) (1976年 歌会始「坂」)
- ③③ いたみつつなほ優しくも人ら住むゆうな咲く島の坂のぼりゆく  
(皇太子妃) (1976年 歌会始「坂」)
- ③④ 広がゆる畑 立ちゆる城山 肝ぬ忍ばらぬ 戦世ぬ事 \*  
(ファルガユルチタキ タチュルグスイクヤマ チムヌシヌバラヌ イクサユヌクトウ) (皇太子)  
(1976年 伊江島の琉歌歌碑)
- ③⑤ 四年にもはや近づきぬ今帰仁 (なきじん) のあかき桜の花を見しより  
(皇太子) (1980年 歌会始「桜」)
- ③⑥ 種々(くさぐさ)の生命(いのち)いのち守り来し西表(いりおもて)の島は緑に満ちて立ちたり (皇太子) (1984年 歌会始「緑」)
- ③⑦ 激しかりし戦場(いくさば)の跡眺むれば平らけき海その果てに見ゆ  
(天皇) (1993年 沖縄平和祈念堂前)
- ③⑧ 弥勒世よ 願て揃りたる 人たと戦場の跡に 松よ植ゑたん \*  
(ミルクユユ ニガティスリタル フィトウタトウ イクサバナアトウニ マトウユウイタン)  
(天皇) (1993年 沖縄県植樹祭)
- ③⑨ 波なぎしこの平らぎの礎と君らしづもる若夏(うりずん)の島  
(皇后) (1994年 歌会始「波」)
- ④⑩ 沖縄のいくさに失せし人の名をあまねく刻み碑は並み立てり  
(天皇) (1995年 平和の礎)
- ④⑪ クファデーサーの苗木添ひ立つ幾千の礎(いしじ)は重く死者の名を負ふ  
(皇后) (1995年 礎)
- ④⑫ 疎開児の命いだきて沈みたる船深海に見出だされにけり  
(天皇) (1997年 対馬丸見出さる)
- ④⑬ 時じくのゆうなの蕾活けられて南静園の昼の穏しさ  
(皇后) (2004年 南静園に入所者を訪ふ)
- ④⑭ 弾を避けあだんの陰にかくれしとふ戦(いくさ)の日々思ひ島の道行く  
(天皇) (2012年 元旦発表、沖縄県訪問)
- ④⑮ 工場の門の柱も対をなすシーサーを置いてここは沖縄(ウチナー) (皇后) (旅先にて)
- ④⑯ 万座毛に昔をしのび巡り行けば彼方(あがた)恩納岳(おんなだけ)に立ちたり  
(天皇) (2013年 歌会始「立」)
- ④⑰ 我もまた近き齢にありしかば沁みてかなしく対馬丸思ふ  
(皇后) (2014年 学童疎開船対馬丸)
- ④⑱ あまたなる人ら集ひてちやうちんを共にふりあふ沖縄の夜  
(天皇) (2018年 沖縄県訪問)
- ④⑲ 与那国の旅し恋ほしも果ての地に巨きかじきも野馬も見たる  
(皇后) (2018年 与那国島)